



1. 新年 校長挨拶

保護者の皆様

新年、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

帝京ロンドン学園は1月9日に第三学期の始業式をおこないました。その場で生徒の皆さんと嬉しいニュースを共有したのですが、本学園は昨年12月に在外教育施設の中で初の国際バカロレア(IB)の認定校となりました。実際にプログラムを実施するのは来年度の入学生からとなりますが、導入に向けての準備段階で、生徒、保護者の皆様にも、IB機構との面談に参加していただくなどご協力いただきありがとうございました。IBプログラムは世界で約160カ国、5000校で実施されていて、生徒が自らの学びに主体性を持ち変化の激しい世界で活躍できるよう、将来に役立つスキルを身につけるための教育を提供しています。また、国際バカロレア資格を取得することで世界中の多くの大学の受験資格を得ることができます。準備の過程で学園ではさらに学習環境をより良いものとするために、理科実験室と図書館の整備にも取り組みました。生徒の皆さんは、3学期からは新しい理科室で実験ができ、図書館にはリサーチのための生徒用デスクトップが設置され利用可能となりますので大いに活用してほしいと思います。

さて、今年はずき年です。うさぎは跳びはねることから飛躍するという象徴になるそうです。成人となった3年生の皆さんは、大人としての自覚をもち四月からの新生活の準備を、2年生の皆さんは職場体験などを通して将来のことを考え、1年生のみなさんはスキー研修旅行を契機に次学年にむけて英気を養ってください。それぞれが大きな飛躍の年となることを願っています。

皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに、帝京ロンドン学園への変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶に代えさせていただきます。

皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに、帝京ロンドン学園への変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶に代えさせていただきます。

帝京ロンドン学園 校長 ネルソン文子



2. IB コーナー

1月の目標とすべき学習者像は、「知識のある人」と「バランスの取れた人」です。

「知識のある人」とは、高い知識や教養のある人を指します。知識とは一見して分かるものではありませんが、授業などでの発表の様子を見ると、この人はたくさんの知識を蓄えていると思って尊敬することができます。

また、「バランスの取れた人」とは、集団の中で、周囲を巻き込んで目標を達成しようとする人のことを指します。意味の捉え方は人それぞれなので自分が思う「バランスの取れた人」を目指すのが良いと思います。(生徒会書記)



3. もちつき大会

始業式当日、新年を祝い、生徒会主催で餅つきを実施しました。毎年恒例の餅つきは、コロナ禍でなかなか実施できませんでしたが、久しぶりに実施することができました。新年を祝う餅つきの由来は「お米から作るお餅は神聖な食べ物だから」「子孫繁栄を願って」「歯固めの儀式として」など諸説あります。いずれの由来をみても、お米は縁起の良い食べ物とされてきたことがわかります。もち米は前日に生徒会の生徒がしっかり研いでもくれました。使用する杵も臼も数年前に日本から運ばれてきたものです。餅の形は、一般的に東日本は角餅、西日本は丸餅とのことです。今回の餅は、丸餅でした。味付けもあずき、きなこ、醤油と海苔と3種類用意しました。生徒は交代で「ヨイショ」の掛け声に合わせて杵を振り上げ餅をついていました。

つきたての餅は美味しく、あっという間に時間が過ぎていきました。ロンドンでつく餅は格別な味がしたようです。今年も餅のように粘り強く何事にも取り組んでほしいと思います。



4. 各コースより

・サッカーコース

明けましておめでとうございます。冬期休暇中にはコース生で集まってフットサルをしたと聞きました。そこには現在のサッカーコース生だけでなく、かつての仲間もいたようです。高校生時代に同じ環境で汗を流した仲間は、一生の仲間になりうるので大切に友人関係を育ててほしいと願っています。

さて、新学期が始まり早速厳しいトレーニングを行っています。イギリスは非常に雨の多い冬になっており、ピッチ状況が悪いため試合が中止になることが多くなっています。また、新年早々、Yo-Yo テストを行いました。このテストは入学時に行ったテストで、冬期休暇明けでありながらも、入学時の記録と比べて記録が伸ばした選手も多く、今までのトレーニングの成果を発揮してくれました。



・アートコース



明けましておめでとうございます。今学期は、木材を使ってつくる Parquetry（寄木細工）や、セラミックタイル画、手彫りガラス工芸などに挑戦します。Teikyo x ISCA の授業では、Year2（高3）生は、IGCSE-Fashion&Textile に向けて個人制作に取り組んでいます。Year1（高1）生は、Artist Research をおこなったり、Cubism（キュビズム）のあとに起きた Vorticism（ヴォーティシズム）というアトムーブメントを学習したりして、絵を描いています。

アートの授業では思いや意図を表現することだけでなく、美しさを味わって鑑賞することで関心や理解を深めるとともに、生活や社会の中の芸術・芸術文化と豊かにかかわる資質や能力の育成を目指していきます。

5. 寮便り



2023年は16人の寮生でスタートしました。今回のフライトから1年生も含めて、自分たちでタクシー運転手に連絡し落ち合い、空港から学園まで移動するという挑戦をしました。渡航制限もさらに緩和され、ヒースロー空港も賑わっていましたが、預け荷物が届くのが遅くなったり、イミグレーションで引っかかったり、なんとロストバゲージを経験したり・・・と普段の学園生活では味わうことのできない記憶に残る経験をした寮生もいました。そんな緊急事態でも、知っている英単語でやりとりし、様子を学校に報告する姿に成長を感じました。また、何度も羽田ーロンドン間の渡航を経験するうちに、航空業界で働きたいと卒業していった先輩たちを思い出しました。

3年生と過ごす時間も残りわずか。寒さに負けず、いつまでも続く曇り空に負けず、まだまだ知らないロンドンに出かけて、新しいときめきを見つけてほしいです。

6. 保健室より



本年もどうぞよろしくお願いいたします。

生徒の皆さんがそれぞれに満喫した冬休みの様子を嬉しく聞いています。現在、インフルエンザとコロナと両方が大流行しているイギリスですが、今学期も一人ひとり、また皆で意識を高め合いながら感染予防に取り組み、元気に過ごせる3学期を目指したいと思います。

7. お知らせ

これまで本学園ではスクールバスを2便（Uxbridge 便・West Acton 便）運行していました。しかし、2023年4月より Uxbridge 便の利用者がいないことから、運休することにいたしましたので、お知らせいたします。

***** 今月の一枚 *****



全てが凍る冬の朝。

編集後記

イギリスもまだまだ寒い日が続き、グラウンドには霜が降りていました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

(高野)

帝京ロンドン学園の Instagram は [コチラ](#)! ▶▶▶

